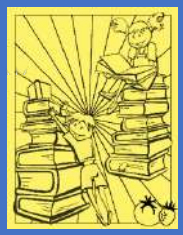


［フィリピンに本をおくる会］の活動通信

NO.15

2023.1

発行：NPO 法人シニアの再チャレンジを支援する会事務局 <担当：宮崎>
〒171-0044　東京都豊島区千早 4 丁目 38 番 5 号　ビルホリモト 101
TEL: 050-3700-5040　FAX: 050-3488-1763
E-mail: seniorrechallenge2@gmail.com
（理事長：岩熊　徹　　活動代表：金子多美江）

「フィリピンに本をおくる会」の活動報告

―――NPO 法人シニアの再チャレンジを支援する会―――

理事　　林　俊雄

いつも「フィリピンに本をおくる会」の活動に、深いご理解と強いご支援を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。立教セカンドステージ大学を通じての縁もあって、皆様方の活動のご支援を始めてから早くも 3 年目に入りました。百年に一度と言われる『新型コロナウィルス』の世界的蔓延に伴う自粛と不安の中からのスタートでした。

新型コロナ禍は流行の拡大と縮小を繰り返し、我々を取り巻く環境は慎重な活動を求められる状況が続いていますが、現地スタッフとの効果的な交流のためのネットワーク通信環境の整備や、大量の翻訳データのDB化による作業効率の向上のための IT インフラの整備を進めて参りました。

昨年11月に、活動代表の金子さんが米寿を迎えられました。現在彼女の大きな夢であり長年の懸案でもある、『マガタ第二図書館の再建』の実現に向けて、現地スタッフ共々具体的検討を進めています。

今年も、従前の『あむあむニット即売会』や『ニット教室』の他、『醍醐さんのチャリティコンサート』の開催も予定しています。

今後とも引き続き、皆様方からの篤い強いご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

あむあむ販売会について

↑アップルハウスの販売会

2022 年 7 月から 12 月迄の期間において「フィリピンに本をおくる会の活動」を資金面で支援する、あむあむ作品展示販売会を次のとおり開催しました。当販売活動の収益は、活動資金の源泉となるものですが、コロナの影響もあり、ここ数年は思ったほどの収益とはなりませんでしたが、コロナの収束と共に今後の改善が期待されます。

① 7 月 1 日～10 日　:大宮あっぷるはうすでの販売会開催
　158,100 円

② 9 月 1 日～7 日　:豊島区千早 KATE サロンでの販売会開催
　43,200 円

③ 12 月 1 日～10 日　:大宮あっぷるはうすでの販売会開催
　350,000 円

KATE サロンの販売会　↓

2 月開催の販売会では、大宮氷川神社の十日市が久しぶりの開催となり、大きく売り上げに貢献しました。また KATE サロンの販売会については、過去 3 回同様の販売実績となり、販売会の改善を必要としています。多くの皆様のご来を場お待ちいたします。

エンガワ市の模様

＊販売活動として、上記以外にも 2022 年はエンガワ市への参加、エンガワ SHOP での常設店売り上げを行っており、若干の貢献をしています。

・エンガワ市での販売会参加（9 月 11 日） 約 6,000 円
・エンガワSHOPの売上（4 月～10 月迄） 9,600 円

池袋図書館報告 ＜紙芝居・本作り・講演会＞

豊島区の SDGS 活動の一環として、池袋図書館との共同事業として、さいちゃれでは、本年事業として次の 3 つの事業を展開し、豊島区の子どもたちにもフィリピンに本をおくる会の活動理解を推進しました。

SDGs おはなし会（マガタの子どもたちの紙芝居講演（7 月 30 日）

池袋図書館における夏休み子供交流イベントとしてフィリピンの子どもたちが作った紙芝居の読み聞かせを行いました。真夏の暑い時間帯での開催となったため、参加頂いた親子は 4 組と少ない中での開催となりましたが、参加した子供たちにとっては、初めての紙芝居であり興味深く聞き入っていました。また、現地紹介ビデオや、紙芝居から伝わる現地の子どもたちの生活にも関心を示していただくことができました。

←濱口さんによる紙芝居の朗読

タガログ語で本を作ろう！（8 月 8 日・22 日開催）

池袋図書館における夏休み子供交流イベントの第2弾としてフィリピンの子どもたちへ送る「タガログ語の絵本作り」を 8 月 8 日/22 日の 2 回開催いたしました。まだまだ暑い時間帯での開催でしたが、22 日には 6 名の子供たちに参加頂きました。参加頂いた子供たちにとっては、初めての本つくりでしたが、みな上手に絵本を作ることができました。

ここで作られた絵本は、10 月に現地フィリピンに送り届けられました。

池袋図書館での本づくり→

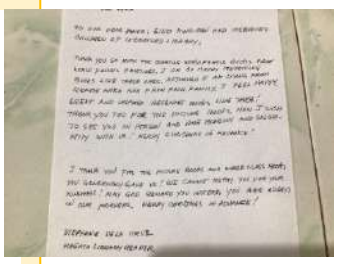
金子多美江さんの講演会のご案内＜11 月 23 日開催＞

フィリピンに本をおくる会の活動代表「金子多美江さん」の講演会が、池袋図書館　多文化共生プロジェクト・SDGS 関連事業として、左記案内のとおり開催されました。当日は多くの豊島区の皆様に参加頂きました。金子さんの発表された講演の内容は下記よりご覧いただけます。また当日の講演内で紹介された現地の子「レア・チカ」の詩”私たちの図書館「シェラマドレ」”について感銘を受けた方も多く、クリップして紹介しています。なお詩の日本語朗読は、さいちゃれメンバーの岩渕裕子(RSSC8 期生)さんです。

☞ https://senior-rechallenge.jimdo.com/event2212232/

翻訳本ならびに生活用品の発送＜現地に年２回絵本の発送を行いました＞

← 現地到着荷物 残り１個は後から



→ 参考：現地の子どもたちの感謝のメッセージ

昨年 10 月に皆様の支援で現地に送る事ができた 199 冊の絵本と橿原ローターアクトクラブ様から寄贈頂いたタガログ語翻訳済みの絵本 13 冊、文具等寄贈頂いた日本フィランソロピー協会・大塚商会様。美術全集を寄贈頂いた木野様、池袋図書館に集まった子供たちが作成した絵本や、その他多くの衣類や靴などが 11 月末に現地に到着し、現地から喜びの声が届いています。

＊その他現地の子供たちからのメッセージはこちらからご覧いただけます。

☞https://senior-rechallenge.jimdo.com/news221214/

現地のこの感謝メッセージ紹介

親愛なる寄付者、木野惠以子さんと池袋図書館の池袋の子供たちへ。
世界的に有名な絵画から世界的に有名な本を寄付していただき、誠にありがとうございます。このような本が届くのはとてもうれしいです。私は遠くの貧しい家族と共に住んでいますが、このような本を受け取ることができ、素晴らしさを感じています！ 絵本もありがとうございます。直接お会いできませんが、私たちとの絆と連帯感を感じます!
惜しみなく贈ってくださった絵本と世界的な本に感謝します！ご厚意へのお返しは叶いませんが、神が代わりにあなたに恵みを与えますよう、いつも私たちは祈りの中にいます。　一足お先にメリークリスマス！

ステファニー・デラ・クルス　/ マガタ 図書館

ニット教室から

新年明けましておめでとう御座います。
with コロナ状態の昨年でしたが、教室では 3 名の新生徒さんをお迎えすることができました。
メーカーやアパレル残糸利用の作品完成時には年齢、性別関係なく皆様の前で披露し合い盛り上がります。
また、教室グループラインでは、生徒さん達の熱心な利用により質問、動画指導も充実してまいりました。
こちらでは、別クラスの方の作品も視聴でき、アットホームな雰囲気に笑いもあり心が和みます。初心者多数の千川教室も展示会出品数も徐々に増え、微力ですが支援活動の仲間に入れ、皆で喜んでおります。今年の目標は「ゆっくり、のんびり、バージョンアップ」です。 本年もよろしくお願い申し上げます。

ニット教室講師　嶋田　壽美

現地図書館報告

SPM members

In behalf of SPM, I have been REITERATING MY DEEPEST GRATITUDE since the very beginning of the SPM PROGRAM in partnership with our Japanese benefactors specifically Mr & Mrs Kaneko whose bleeding hearts are there WITH THE HEARTS OF INDIGEOUS CHILDREN who had been oppressed, marginalized, discriminated for many year!

Solomon Mendez

SPM を代表して、私は日本の恩人、特に金子夫妻と協力し進める SPM のプログラムを開始して以来、長年に渡る支援に対し心からの感謝を申しあげます！

ソロモンメンデス

＊その他 SPM メンバーからのメッセージは 12 月図書館報告を参照下さい。
https://senior-rechallenge.jimdo.com/library-report2212/

マガタ第一図書館　＜2022 年 11 月報告より＞

私はマンガハン第一図書館の新しいボランティアです。子どもたちは図書館の中での遊びが大好きです。動物の本、自然の本、体の本、医学の本など、本を読むことがとても好きです。小さい子供たちは、伝記ものの本を読むことが大好きです。

ローズマリー・パラレ

Manggahan children with new books from Japan, Arigatou gozaimasu!

日本から届いた新しい本を持つマンガハンの子供達。ありがとうございます。

Construction of gate and canal Manggahan Library 1

再建されたマンガハン
第一図書館の扉と側溝

マガタ第二図書館　＜2022 年 11 月報告より＞

・今月のマガタ図書館の利用者は減少しました。
・子供達は、平日は学校で忙しくすごしています。
・マガタ第二図書館は毎日開館しています。
・子どもたちは元気で、学校や図書館に行くのがとても大好きです。
・マガタ第二図書館の天井が落ちてきて、子供に危ない状況です。

ボランティア司書　ジョベリン・オカンポ

新しく日本から届いた絵本とマガタの子どもたち。
日本の支援者の皆様ありがとうございます。

Magata Children with new arrived books! Thank you our loving sponsors from Japan.

✎ラトン第三図書館　＜2022 年 11 月報告より＞

お元気ですか？

金子さんご夫妻がお元気で健康でありますよう願っています。

クリスマスも近づき、私たちはクリスマスの喜びを祝いたいと思います。

ラトンの子供たちは学校の放課後に毎日本を読みにやってきて、私はボランティアとしての幸せを皆さんと分かち合っています。

ボランテイア司書 エメリン　デラ　クルーズ

Ratong children wrote a thank you letter for the kind hearted Japanese who donated books! We are sending our gratitude!

本を寄贈してくれた優しい日本の皆様に感謝の手紙を書いたラトンの子供達！ 感謝の気持ちを送ります！

マリスは、彼女の教える学校で生徒たちに紙芝居「本大好き！」を読み聞かせます。

彼女の生徒たちはそれがとても大好きで、話を聞いた後、もう一度読んでいます。

（彼女は Youtube の紙芝居動画も生徒たちと共有しています）

Mariz reads kamishibai “Gusto Ko Ang Libro” to her pupils. Her pupils like it so much that they even read it again after listening to the story. (She even shared the videos of kamishibai in Youtube to her pupils)

＊図書館の利用者は 3 館合計で 1 日当たり、2021 年 46.9 人 2022 年 47.2 人とほぼ前年並みの利用実績ですが、若干増加しています。コロナの影響がなくなるとこの利用者は増えてくると予測されます。

		Library1(Manggahan)			Library2(Magata)			Library3(Raton)			Total		
Year	index	WD	User	Per/day	WD	User	Per/day	WD	User	Per/day	WD	User	Per/day
2021	Total Ave/Month	284 24	7,053 588	24.8	319 27	5,109 426	16.0	289 24	1,754 146	6.1	297 25	13,916 1,160	46.9
2022	Total Ave/Month	286 24	7,423 619	26.0	340 28	5,263 439	15.5	264 22	1,616 135	6.2	297 27	14,302 1,300	47.7

上記は、2021 年と 2022 年の現地図書館の利用状況です。現在では、毎月現地マリスより、エクセルを活用し月次報告として、レポートされています。

（＊WD は稼働日の略です。）

新規支援者のご紹介　　＜Zerra-san＞

まず最初に、私が JOES(フィリピンに本を送る会の前身)でボランティアを始める機会を与えてくれた皆様に感謝の意を表したいと思います。この活動はタガログ語を磨きながら日本語を学ぶという面だけでなく、日本の文化についても深く知ることの役に立ちました。それは私に目的意識と、新しい友達に会う良い機会を与えるだけでなく、貴重なスキルを学び、子供の頃に読んだ本から学んだ事の復習に役立ちました。

本を収集し、翻訳し、現地に送り、さらにはフィリピンの僻地において、子供たちが家の近くに無料で行って読むことができる図書館を建設し、維持する費用を負担し続ける事は、とても驚くべきことで、感謝してもしきれません。このことは現地の子供とその家族がいかに恵まれて幸運であることを理解するにつれ、皆様の努力を高く評価していると確信しています。また、アナログからデジタルへとステップアップしたことにも圧倒されています。つまり、この変化に追いつくためには、私も新しいことを学ぶ必要があります。最後に、シエラ・マドレを訪れるたびに、より快適な旅行ができるように、市政府が遅かれ早かれシエラ・マドレへの道路を改善することを願っています。

敬意を表して、ゼラ

活動代表 金子さんコメントより

本作りでの講話から

新年おめでとうございます。みな様のご健康とご縁を願っています。
お陰様でフィリピンの子どもたちはコロナ禍の中でもすくすくと成長しており、今年もご支援をよろしくお願いいたします。

私の気がかりはもう 5 年も現地訪問していないことでしたが、先月、会の協力者である合田洋樹さんが訪れて下さり、貴重な報告を頂きました。それによると、タナイ-マンガハン間の命かけで通った悪路が劇的に整備され、災害時の公的救援が容易になったこと、マガタ周辺にリゾートハウス(中にはプール、エアコンつきもある)が建ち、村落の雇用が増えたことなどプラス面もありましたが、文化面の施策はまだまだ。この中で「本」をおくる意義の大きさを改めて感じました。最近はスマホ読書もできますが絵本はやはり紙の文化で!です。しかし図書館は老朽化激しく、新改築は急務、また本たちも老齢化し、時代に即応した本も必要です。翻訳者の少ないことも問題ですが、最新の翻訳機も活用して、現地での翻訳活動ができるよう、若者を中心に自立への道すじもつけていきたいと考えています。問題は限りなくありますがゴールは自立、これらと向き合い、解決に向かって一歩一歩進む年にしたいと考えています。

転じて日本側では、驚くべきほどの支援の広がりがあります。あむあむ・KATE サロンの作成・販売会の活躍、本づくり・本おくりの手順の確立、多方面への活動の展開。たくさんの方々の努力の中で国際関係が危うくなっている今こそ、小さなこのきずなを強めていきたいと望んでいます。 平和な世界が一日も早く来ますように!

「フィリピンに本をおくる会」代表 金子多美江

NPO 法人シニアの再チャレンジを支援する会は「フィリピンに本をおくる会の活動」を今後も中心事業として継続してまいります。当活動支援いただける方は引き続きご支援を、お願いいたします。
なお支援金の送付は下記までお願いいたします。

★郵貯口座
名義）特定非営利活動法人　シニアの再チャレンジを支援する会
ﾄｸﾋ）ｼﾆｱﾉｻｲﾁｬﾚﾝｼﾞ ﾌｼｴﾝｽﾙｶｲ（口座）記号 00150-6-420797

★銀行
ゆうちょ銀行　店名〇一九　店番 019
預金種別　当座預金口座番号 0420797

私たちと一緒に当活動にご参加頂ける方は下記より入会の手続きをお願いいたします。

（入会ご案内）　（入会届）